

## ●平成19年度土木学会関東支部栃木会総会が開催されました

平成19年7月26日（木）に、平成19年度土木学会関東支部栃木会総会が、ホテルニューイタヤにて開催されました。

平成19年度の役員改選が行われ、平成18年度の事業報告や平成19年度事業計画が報告されました。（平成19年度役員一覧表）

また、総会終了後に同会場で講演会が開催されました。

### ◆開催概要

開催日：平成19年7月26日（木）

場 所：ホテルニューイタヤ

出席人数：210名

#### ■総会（14：30～）

##### ・次第

1. 開 会（森本幹事）
2. 会長あいさつ（古池会長）
3. 来賓祝辞（根岸顧問、福田関東支部幹事長）
4. 議 事
  - (1) 議案
    - ① 第1号議案 平成19年度役員改選
  - (2) 報告事項
    - ① 第1号 平成18年度事業報告について
    - ② 第2号 平成18年度会計収支決算について
    - ③ 第3号 平成18年度会計監査報告
    - ④ 第4号 平成19年度事業計画について
    - ⑤ 第5号 平成19年度会計収支予算について
5. 閉会

#### ■講演会（15：30～）

○「整備の進む北関東自動車道について」

東日本高速道路(株) 関東支社 宇都宮工事事務所  
所長 手代木 学 氏

○ビデオ上映：「民衆のために生きた土木技術者たち」

#### ■意見交換会（18：00～）

◆会長挨拶



◆来賓あいさつ（福田関東支部幹事長）



◆総会の様子





◆講演会の様子

○手代木氏



## ◆ビデオ上映概要

平成 19 年度土木学会関東支部栃木会総会講演会

# 民衆のために生きた土木技術者たち

## — ビデオ上映 —



### ◇概要

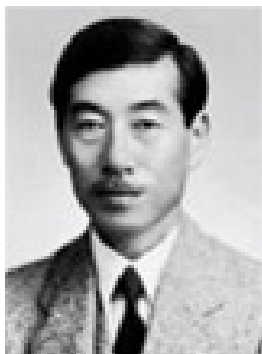
明治の終わりから昭和の初めにかけて、土木事業を通して苦難にあえぐ民衆を救済する、との志を持ち、卓越した土木技術を駆使して難工事に挑んだ、青山士、宮本武之輔、八田與一。この映画は、廣井勇に学んだ彼等 3 人の土木技術者としての姿を描いた映像作品である。

「青山士」は、パナマ運河の建設に携わって高く評価された後、荒川放水路の岩淵水門を建設して東京市街を洪水から救った。「宮本武之輔」は、大河津分水可動堰を建設して越後平野の農民たちを地獄の苦しみから救った。「八田與一」は、台湾で洪水、旱魃、塩害の三重苦の不毛の大地を台湾最大の穀倉地帯に変貌させて、今なお神の如くに敬愛されている。

この作品では三人の業績を通して、彼らの卓越した土木技術と「人の役に立つ」技術を目指した土木哲学を描くことにより、土木事業の社会的意義を強く訴えている。また同時に彼らの生き様から、「土木技術」とは何であるのか、また、土木技術者としていかにあるべきかを、土木技術者あるいは広く一般の方々にも深く問いかける作品となっている。

なお、この作品は第 20 回土木学会映画・ビデオコンクールにおいて会長特別賞を受賞した「日本の近代土木を築いた人びと」の続編として位置付けられる。戦前の古い資料をベースにしながらも随所に美しい映像と心に響くナレーションが織り込まれた作品となっているので、とりわけ土木を志す若者たちには是非見ていただきたい作品である。

### ◇3人の技術者



青山 士



宮本 武之輔



八田 與一

『社団法人土木学会ホームページより転載』